





安全上のご注意


- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)







図記号の意味と例

	❯は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、❯の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)





警告

 禁止	交流 100 V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	業務用として使用しない。調理目的以外の使いかたはしない。 本製品は家庭用として設計・製造されています。業務用としての使用は、絶対しないでください。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用しない。 火災・感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。本体の下へ電源コードを通さない。 感電・ショート・発火の原因になります。	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使用しない。 ひび割れによるケガや引火による火災、変色・変形・感電・故障の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない、保存しない。 けが・やけど・感電の原因になります。	プレート 2 枚が完全に拡げられる大きさのテーブルや台の上で使用する。 火災・事故・やけどの原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。 感電や異常動作してけがの原因になります。	使用中、本体の取っ手と解除ボタン以外には触れない。 やけどの原因になることがあります。
	本製品を踏んだり、落としたり、たたいたり、強い力・大きな衝撃を与えない。与えてしまった場合は、使用しない。 故障するだけでなく、感電やけが、火災などの原因になります。	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 差し込みが中途半端では、感電・ショート・発火の原因になります。
	カーテンなどの可燃物の近くで使わない。燃えやすいものの近くで使用しない。 けが・故障、火災、変色や変形の原因になることがあります。	定格 15A 以上のコンセントを単独で使う。 他の器具と併用すると異常発熱して発火することがあります。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けがや火災の原因になります。	

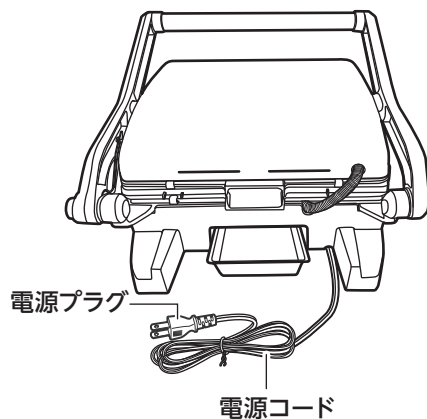
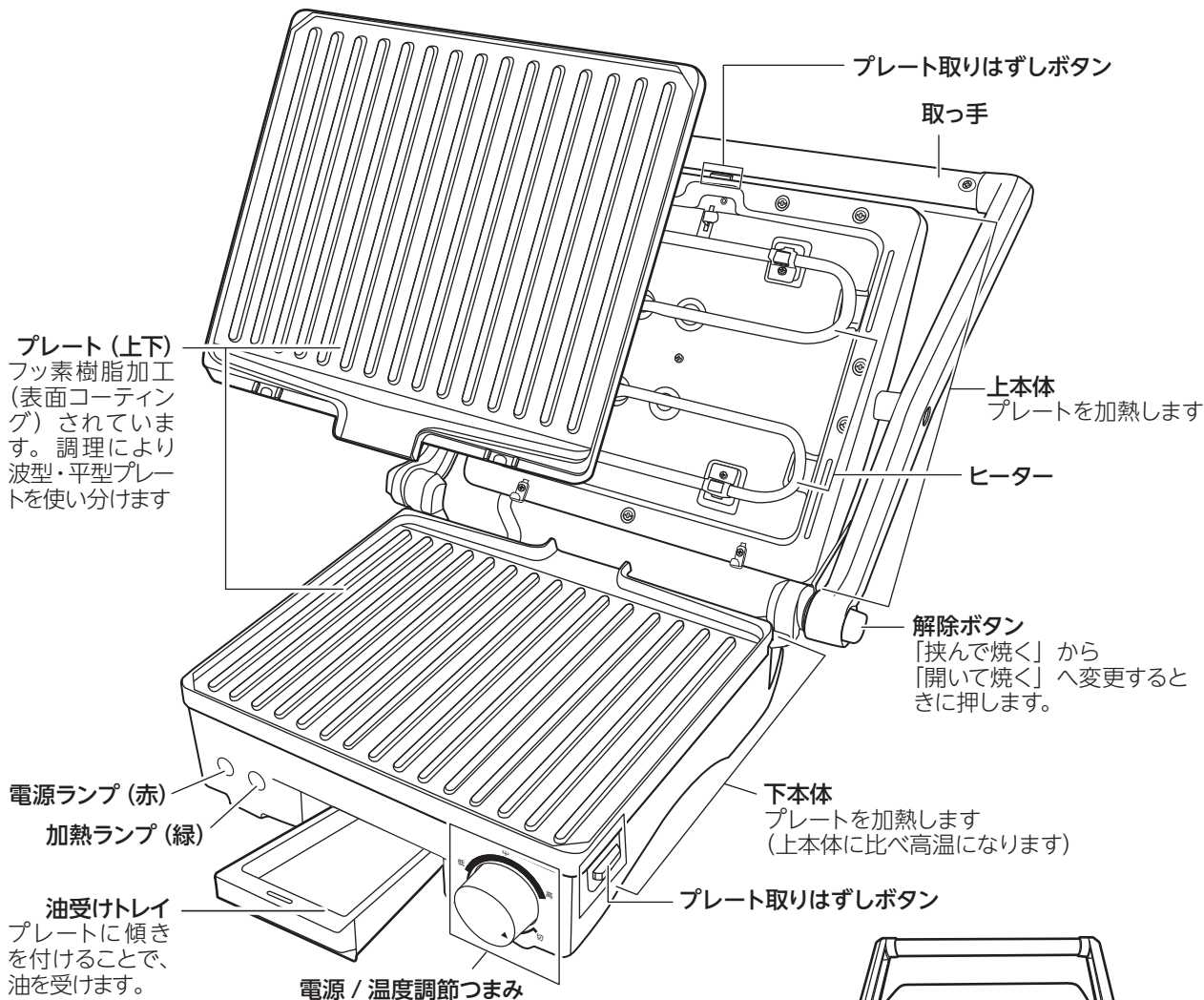
警告

 指示	<p>電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。</p>	 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電や火災、故障の原因になります。</p>
	<p>使用時は本製品から離れないようにする。 火災の原因になります。</p>	 水ぬれ禁止	<p>本製品を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。</p>
 プラグを抜く	<p>使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。</p>	 禁止	<p>必要以上に加熱しない。 調理物が発火して火災の原因になります。</p>
	<p>お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。</p>		<p>使用中や使用後しばらくは、プレートやヒンジ部の金属に触れない。 やけどの原因になります。</p>
	<p>調理物が発煙、発火したときは、すぐに電源プラグを抜く。 火災の原因になります。 本体に影響があったときは、ドウシシャお客様相談室にご相談ください。</p>		<p>プレートの上で缶詰やびん詰めを温めない。 破裂したり、熱したりして、やけどやけがの原因になります。</p>
 分解禁止	<p>分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 感電・ショート・発火の原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にご相談ください。</p>		

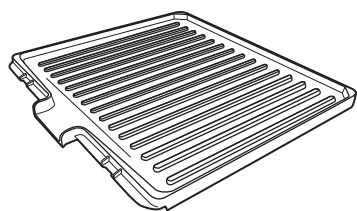
注意

 禁止	<p>食品以外焼かない。 やけど・火災の原因になります。</p>	 指示	<p>購入後、初めて使用するときは十分お手入れをしてから使用する。 初めての使用のときは、空焼きをしてください。異臭の原因になります。</p>
	<p>金属製のヘラやフォークなどは使用しない。 プレートを傷め、焦げなどの原因になります。</p>		<p>プレートと本体のすき間に食材の油などが入らないように注意する。 発煙・発火の原因になります。</p>
 指示	<p>電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。 感電・ショートの原因になります。</p>	 指示	<p>プレートと本体のすき間などに調理くずが残らないよう、こまめにお手入れする。 感電・発火の原因になります。</p>
	<p>お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行なう。 やけど・火災の原因になることがあります。</p>		<p>壁や他のもの（特に可燃物）との間隔を十分にあけて設置する。 本体や物に変形・変質したり、火災の原因になります。</p>
	<p>使用するたびにお手入れをする。 お手入れをしないでおくと、プレートが傷んだり、故障する原因になります。</p>		<p>必ず両本体に両プレートを取りつけて使用する。 火災・やけどの原因になります。</p>
	<p>上本体を開けるときは充分注意する。 調理物の水分が蒸気として出てくるため、やけどの原因になります。</p>		<p>業務用として使用しない。 本製品は家庭用です。業務用などで使用すると火災の原因になります。</p>

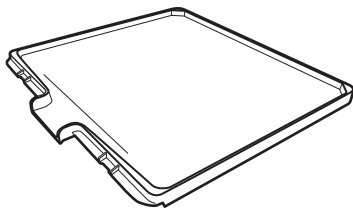
各部の名称とはたらき



付属品



波型プレート×2




平型プレート×2 ※HPU-132のみ




- 警告**
- プレートは、2種類のうち1種類を選択して使用する。種類を混合したり、1枚のみでの使用はできません。
 - 電源コードは、束ねたまま使用しない。発煙・発火の原因になることがあります。

使用前の準備

プレートの取り付け・取りはずし

 警告	プレートの取り付け・取りはずしは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なう。 やけどや事故の原因になります。
--	--


 注意	プレートの取り付け・取りはずしなど、プレートを扱うときに指などはさまないように注意する。
--	--

1. 取っ手を持ってゆっくり開く①

取っ手を持って上本体を開きます。
開くときに上本体が重いので、転倒しないように十分注意してください。
※上本体は斜めになった状態で止まります。

2. さらに取っ手を持ったまま、解除ボタンを押して②上本体を全開にする

取っ手を持ったまま、斜めになった上本体を「解除ボタン」を押してさらに開きます。
ゆっくりと上本体を開いてください。

 注意	上本体が斜めの状態ではプレートの交換をしない。 プレートが手前に倒れてくることもあるためとても危険です。上本体を全開にしてからプレートの交換をしてください。
--	---

3. すでに取り付けられているプレートを上・下の順に取りはずしボタンを押して取りはずす


以下の順に取りはずしてください。

上プレート

上プレートの取りはずしボタンを押し③、上プレートを斜めに起こし④、上方向に引き抜いてください⑤。

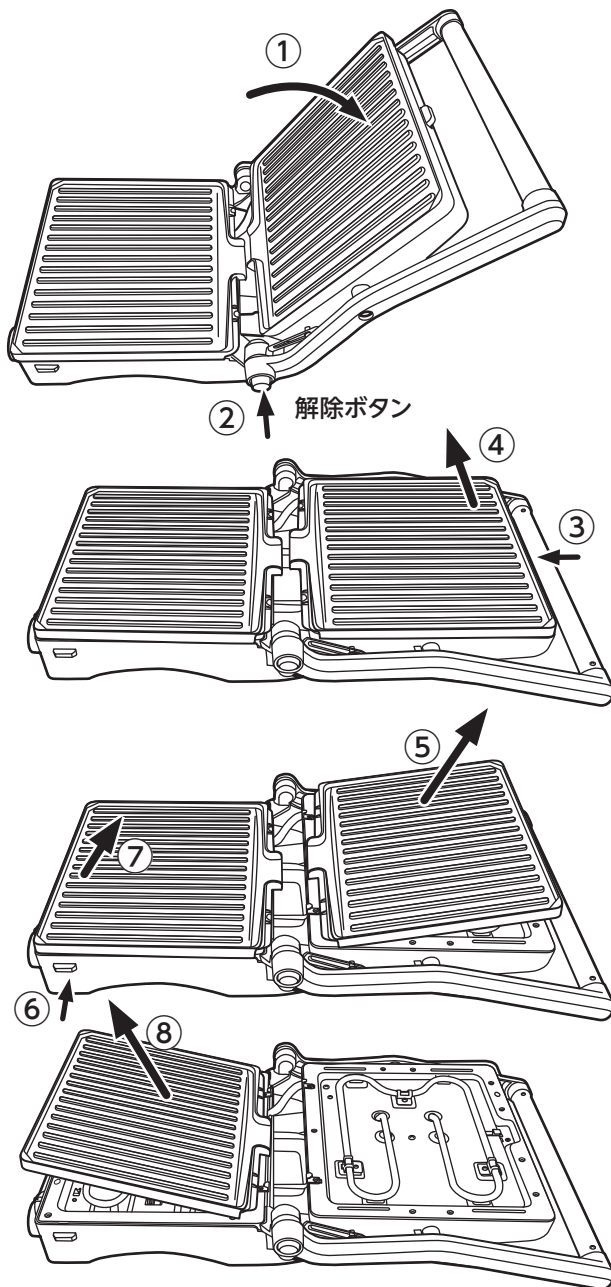
下プレート

下プレートの取りはずしボタンを押し⑥、下プレートを斜めに起こして⑦、上方向に引き抜いてください⑧。

 注意	使用していたプレートを交換する場合は十分冷めていることを確認する。
--	-----------------------------------

4. 油受けトレイなども取りはずして洗っておく

以下の順に取りはずしてください。

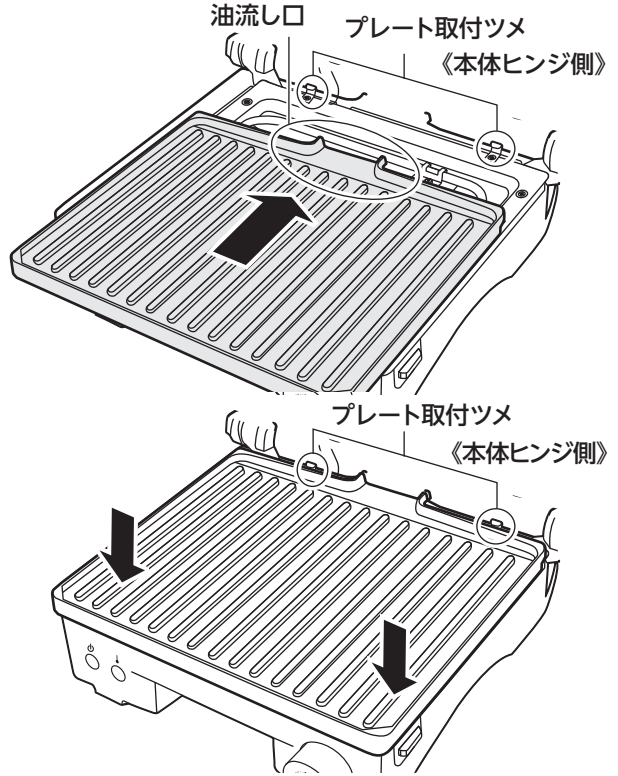


使用前の準備 (つづき)

5. プレートを取り付けるときは逆に下・上の順に取り付ける

プレートの油流し口を本体ヒンジ側に向けて、プレート取付ツメに当てて、本体にプレートを取り付けてください。

- プレートの油流し口側を本体ヒンジ側のプレート取付ツメにあて。ヒンジ側が確実に差し込まれたのを確認後、プレートの反対側(取りはずしボタン側)を押し込んで取り付けます。必ず上下とも同じ種類のプレートを取り付けてください。



⚠️ 注意

プレートをのせるとき、プレートの裏面やヒーターに異物が付着していないか、十分注意する。

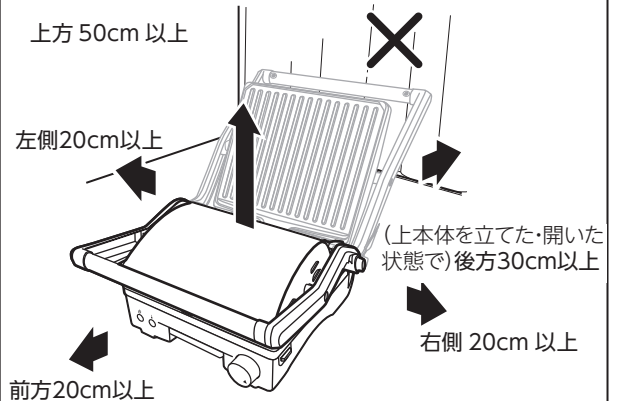
⚠️ 警告

- プレートを載せずに電源プラグをコンセントに差さない。
- ヒーターの上にプレート以外を直接のせたりしない。
- 付属のプレート以外は使用しない。

6. プレートを取り付けたあとは、がたつきがないか、上本体が問題なく閉まるかを確認する

プレートの取り付けが正しくないと、本体が閉まりません。取り付けを再度確認してください。

本体は壁や周囲から適切な距離を保ってください



使用前の準備

1. 付属のプレートを丸洗いでする

付属のプレートは丸洗いできます。初めてご使用になるときや、長時間使用しなかったときは、使用するプレートをよく洗い、十分乾かしてからご使用ください。

《空焼きのお願い》初めて使用するとき

初めての使用前、調理物をのせず、プレートごとに、最高温度に設定して5分～10分間程度空焼きしてください。そのあと冷まして、十分に洗ってから、実際の調理を開始してください。煙や臭いが若干出ることがありますが故障ではありません(製造時にプレート等に保護を目的として塗った油が気化したもので、無害です)。

次のような場所では使用しないでください。

- カーテンや壁、家具など、可燃物の近く。
- 熱に弱い敷物の上。
- 傷つきやすい家具の上、など

上本体を開いたときバランスを崩して、後方に倒れることがありますので、後方にガラスのものなど置かないようにしてください。

- 本体を立てた状態で使用しないでください。

2. 本体を正しく設置する

本体は安定した水平な場所に設置してください。
油受けトレイも取り付けてください。

3. 使用目的によって脚部を設定する(プレートに傾斜をつける)

脚部を設定することにより、プレートに傾斜が付き、油などが油受けトレイに流れるようにすることができます。

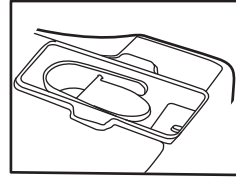
- ・左右両方とも同じように設定してください。
- ・調理開始後には設定しないでください。

4. 近くに可燃物がないことを確認し、可燃物がある場合は移動させる

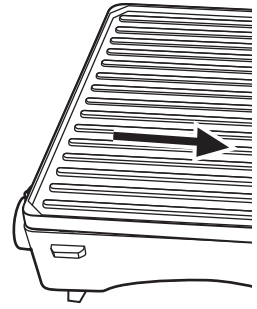
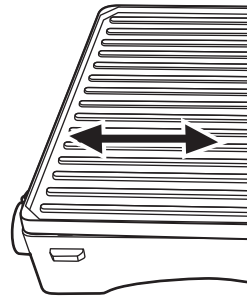
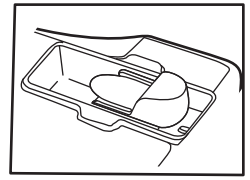
・上本体を開いた状態で周囲から適当な距離を保ってください(左下枠内を参考)。

5. 電源 / 温度調節つまみが [切] になっていることを確認する

脚部なし状態



脚部あり状態



プレートが水平状態:
油などそのまま
例: 目玉焼き・ホット
ケーキを焼くな
ど、油の上で調理
したい料理

プレートに傾斜が付いた状態:
油など内側に流れる
例: 肉を焼くなど、出てきた
油を流したい料理

正しい使いかた

予熱

1. 本体の取っ手を持って開き、プレートが正しく取り付けられていること・異物がのせられていないことを確認する

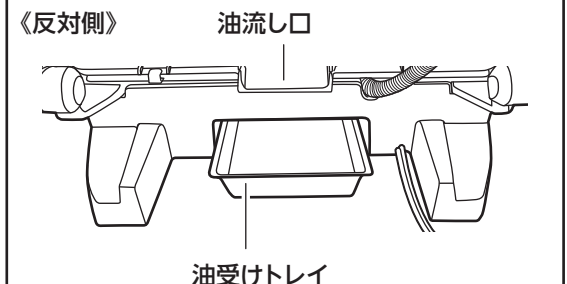
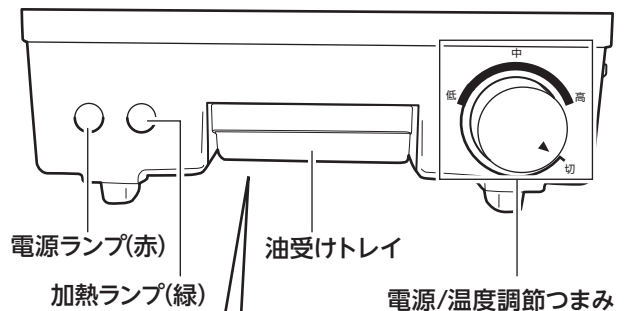
油受けトレイも取り付けしておいてください。

2. 電源 / 温度調節つまみを最大まで回して電源を入れる



注意 予熱状態で長時間放置しない。
プレートに悪影響がありますので、予熱時間は最小限にしてください。

電源プラグを挿し込むと電源ランプが点灯します。次に温度調節つまみを回転させ加熱ランプを消灯させます。予熱が終わると加熱ランプが点灯します。



油受けトレイを取り付けておくと、奥でプレートの油流し口の下で油受けトレイが油を受け止めます。

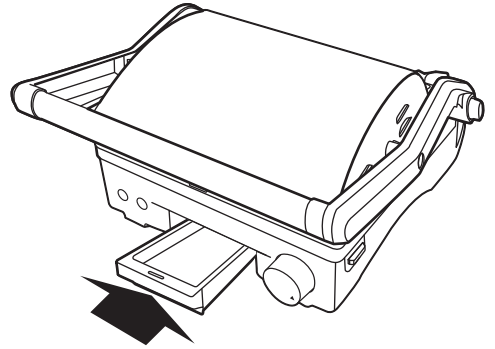
正しい使いかた (つづき)

⚠️ 注意

- 予熱以外、空だきは行わない。
フッ素樹脂加工などに大きなダメージを与えるため、予熱でも空だきは10分以上行わないでください。
- フッ素樹脂加工を傷つける金属製のヘラや箸を使用しない。
- 脚部の設定は予熱前に行っておく。
予熱後に脚部の設定をすることはやけどの原因になります。

⚠️ 警告

調理中や調理後しばらくはプレートやヒンジ部の金属部に触れない。
やけどの原因になります。



油受けトレイを奥まで押し込んでおく

上下、はさんで使う

厚めの肉や野菜などを上下からはさんで調理することができます。

⚠️ 注意

取っ手以外、触れないようにする。
本体が熱せられている状態では、上本体や周辺部分、ヒンジ部分などとても熱くなります。上本体の開け閉めをするとき、取っ手以外触れないようにしてください。

1. 取っ手を持って上本体を開き、プレートを斜めの状態にし、プレート上に材料を並べる

2. 電源/温度調節つまみで温度を調節し、取っ手を持って上本体をとじて調理する

- 料理によって上本体を多少押し付け、または上本体の自重にまかせて焼いてください。
- 上本体に力を入れすぎると、破損の原因になります。

※ 本体をひっくり返すことはしないでください。

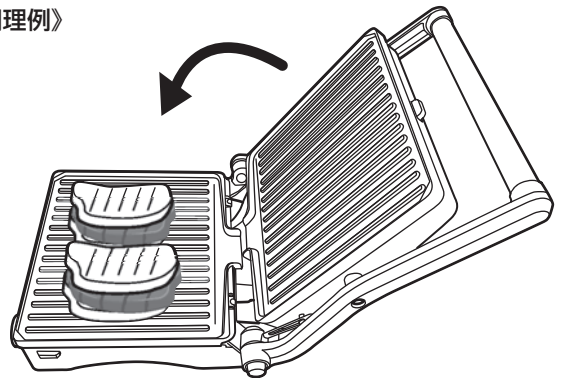
3. 加熱ランプの点灯・消灯をみて、上本体をあけて状況を確認しながら調理する

- プレートが一定の温度になると、加熱ランプが点灯します。

	加熱ランプ (緑)
ヒーター ON (ヒーター加熱時)	消灯
ヒーター OFF (電源 OFF)	点灯

※ 電源ランプは電源コンセントを挿し込むと常時「点灯」します。

《調理例》



広げて2面で使う

焼肉をしたりするときは脚部を高く設定し中心部に油が流れるように設定すると便利です。電源を入れる前に脚部を設定し（7ページ参照）、油受けトレイを取り付けておいてください。

⚠注意

取っ手・解除ボタン以外、触れないようにする。

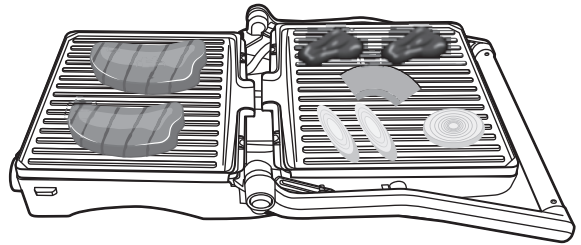
本体が熱せられている状態では、上本体や周辺部分、ヒンジ部分などとても熱くなります。上本体の開け閉めをするとき、取っ手と解除ボタン以外触れないようにしてください。

1. 取っ手を持ってプレートを斜めの状態にし、さらに取っ手を持ちながら解除ボタンを押してプレートを広げる

無理に力を加えると、破損の原因になります。また上本体の重量がかかった状態では容易に解除ボタンは押せないため、取っ手を持って解除ボタンを押しやすくする必要があります。

2. 電源 / 温度調節つまみで温度を調節し、プレートの上に材料をのせ、調理する

《調理例》



下本体・上本体で温度差があるため（下本体が高温）、焼き上がり時間に差がでます

肉などの時間がかかる調理は下本体、野菜などの時間のかからない調理は上本体でのご使用をおすすめします。

調理後

1. ホットプレート用のへらなどを使用してできあがった調理物を取り出す

金属製以外のへらや箸などを使用して調理物を取り出してください。

2. 調理が終わったら、電源 / 温度調節つまみで電源を [切] にして、電源プラグをコンセントから抜く

温度調節つまみを [切] に合わせて電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠警告

- プレートの温度が高い場合は、プレートの交換、取りはずしなどを行なわない。
- 調理を終えたら必ず電源プラグをコンセントから抜く。

お手入れと保存



お手入れと保存は、電源 / 温度調節つまみを [切] にして、電源プラグをコンセントから抜き、電源ランプが消灯していることを確認する。本体とプレートが冷めたことを確認する。
感電・火災・けが・やけどの原因になります。

お手入れのしかた

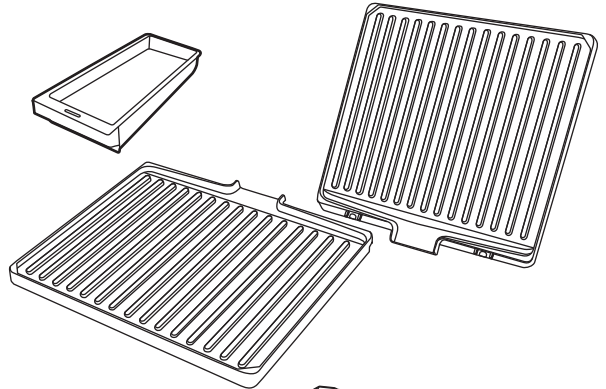
水洗いできるもの



金属たわし、クレンザーなどを使用しない。

〈プレート・油受けトレイ〉

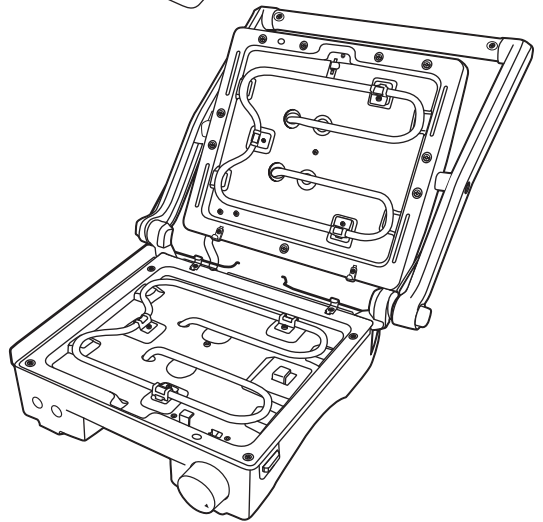
- プレートの表面および裏面に汚れが残ったまま放置すると、腐食の原因になりますので、お手入れをしてください。
- プレートは丸洗いできます。
プレートの内側はご使用後、よく絞ったふきんやキッチンペーパーで汚れや水分をふき取ってください。汚れがひどいときはプレートを本体から取りはずし、食器用中性洗剤（柑橘系を除く）を含ませたスポンジで洗い、よくすすいだあと、乾いた布で水気をふき取ってください。



水洗いできないもの

〈本体〉

- 本体は、水洗い、水に浸けることができません。
- 本体は、よくしぼったふきんやキッチンペーパーでふき取ってください。
 - ヒーターに料理カスや汁がこびりついたり汚れがひどいときは、食器用中性洗剤（柑橘系を除く）を入れた水またはぬるま湯にひたしてよく絞ったふきんなどでふき取ってください。こびりついたまま使用すると、故障の原因となります。



保存のしかた

- お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- 本体・プレートともにポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱などに入れて、湿気の少ない場所に保存してください。
※ プレートは重ねないでください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源ランプが点灯しない	・電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかりと差し込む
プレートが温まらない	・電源 / 温度調節つまみが [切] になっている	料理に合わせて温度調節つまみを設定してください
	・プレートが正しく取り付けられていない	プレートを正しく取り付ける
	・プレートの裏側のヒーターまわりにゴミが付いている	十分冷やしてから、ヒーターまわりのゴミを取り除く
加熱ランプがついたり消えたりする	・故障ではありません 一定の温度に保つため調節しているためです	そのままお使いください
使用中カチカチと音がする	・故障ではありません ヒーターの熱膨脹により発生する音です	そのままお使いください
異臭がする	・購入から数回は製造の過程での油が気化するためにおいが出ることがあります	初めて使用するときにプレートごとに丸洗いを1～数回、空焼きを5分程度行なう

長年ご使用のプレスグリルメーカーはよく点検を

このような症状はありませんか?

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。



このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源 / 温度調節つまみを [切] にし、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシヤお客様相談室に点検をご相談ください。

故障・修理についての
ご相談に関しては…

ドウシシャお客様相談室

☎0120-104-481

【受付時間】9:00~17:00 (祝日以外の月~金曜日)

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。

※ メールでのお問い合わせ、仕様などのご確認は、ドウシシャ公式オンラインストア【ドウシシャマルシェ】の家電サイトをご参照ください。

商品に関する Q&A

お客様サポートセンター

<http://www.doshisha.co.jp/support/faq/appliance.html>



ドウシシャのパーツ購入は

ドウシシャマルシェ

DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで

<https://www.doshisha-marche.jp/>



こちらの
QRコードを
読み込んで
ください